

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第5区分

【発行日】平成17年3月17日(2005.3.17)

【公開番号】特開2003-201698(P2003-201698A)

【公開日】平成15年7月18日(2003.7.18)

【出願番号】特願2001-400357(P2001-400357)

【国際特許分類第7版】

D 2 1 H 19/54

D 2 1 H 19/80

【F I】

D 2 1 H 19/54

D 2 1 H 19/80

【手続補正書】

【提出日】平成16年4月13日(2004.4.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

実施例1

〔下塗り用塗料の調製〕

顔料として、構造化カオリン(商品名:エクシロン/エンゲルハード社)50部、重質炭酸カルシウム(商品名:ハイドロカーブ60/備北粉化工業社)50部を使用し、分散剤として、顔料に対しポリアクリル酸ソーダ0.2部を添加し、コーレス分散機を用いて固形分濃度が70%の顔料スラリーを調製した。このスラリーにとうもろこしを原料澱粉とするリン酸エステル化澱粉(商品名:PN500/三和澱粉社製、リン含有量:測定値1.5%)5部、およびガラス転移温度が-23のスチレン-ブタジエン共重合体ラテックス(商品名:X-400A/JSR社)15部(いずれも固形分換算)をそれぞれ添加し、さらに水を加えて固形分濃度が62%の塗料を調製した。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

〔下塗り原紙の調製〕

表面層に晒化学パルプ、表面下層に脱墨古紙パルプ、中、裏面下層、裏面層には未脱墨古紙パルプを使用して5層に抄き合わされた米坪290g/m²の基紙の表面層上に、上記で得た下塗り用塗料をロッドコーターを用いて、片面当たり乾燥重量で11g/m²となるように塗被、乾燥して下塗り原紙を得た。

〔オフセット印刷用塗工紙の調製〕

かくして得られた下塗り原紙に、上記で得た上塗り用塗料をブレードコーターを用いて、片面当たり乾燥重量で9g/m²となるように塗被、乾燥した後、金属ロール表面温度が150、2ニップのソフトキャレンダーに通紙して塗被層が2層の塗工白板紙を得た。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

実施例 2

実施例 1 の下塗り用塗料および上塗り用塗料の調製において、リン酸エステル化澱粉を、とうもろこしを原料澱粉とするリン酸エステル化澱粉（商品名：PN700 / 三和澱粉社製、リン含有量：測定値 1.4 %）に変更した以外は実施例 1 と同様にして塗工白板紙を得た。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

実施例 3

実施例 1 の下塗り用塗料および上塗り用塗料の調製において、リン酸エステル化澱粉を、とうもろこしを原料澱粉とするリン酸エステル化澱粉（商品名：P-260 / 王子コンスタッチ社製、リン含有量：測定値 1.3 %）に変更した以外は実施例 1 と同様にして塗工白板紙を得た。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0027

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0027】

実施例 6

実施例 2 において、基紙として米坪 80 g / m² の上質紙を用いた以外は実施例 2 と同様にして塗工紙を得た。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0028

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0028】

実施例 7

実施例 1 の下塗り用塗料および上塗り用塗料の調製において、リン酸エステル化澱粉を、馬鈴薯を原料澱粉とするリン酸エステル化澱粉（商品名：ニールガム A85 / アベベ社製、リン含有量：測定値 1.7 %）に変更した以外は実施例 1 と同様にして塗工白板紙を得た。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0029

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0029】

比較例 1

実施例 1 の下塗り用塗料および上塗り用塗料の調製において、リン酸エステル化澱粉を、とうもろこしを原料澱粉とする酸化澱粉（商品名：エース C / 王子コンスタッチ社製）に変更した以外は実施例 1 と同様にして塗工白板紙を得た。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0030

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0030】

比較例2

実施例1の下塗り用塗料および上塗り用塗料の調製において、リン酸エステル化澱粉を、とうもろこしを原料澱粉とするリン酸エステル化澱粉（商品名：UP3051 / 王子コンスターチ社製、リン含有量：0.3%）に変更した以外は実施例1と同様にして塗工白板紙を得た。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0031

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0031】

比較例3

実施例1の下塗り用塗料および上塗り用塗料の調製において、リン酸エステル化澱粉を、とうもろこしを原料澱粉とするリン酸エステル化澱粉（商品名：MS4600 / 日本食品加工社製、リン含有量：0.7%）に変更した以外は実施例1と同様にして塗工白板紙を得た。